

第50回全国高等学校選抜フェンシング大会における競技規則(t.124)の運用について

日本フェンシング協会HPにて掲載されております、FIE 競技規則(t.124)(2025年12月更新版)が、最新ルールとして下記の通り変更されております。(公社)日本フェンシング協会主催の大会においても2026年1月1日以降、適用することとなりました。

つきましては、第50回全国高等学校選抜フェンシング大会でも適用することになりましたのでご周知のほどよろしくお願ひいたします。なお、それに伴って「違反と罰則表」も更新いたしますので、最新版をご確認ください。

t.124

対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)

有効面・無効面を問わず、トウシュがないまま1分間が経過した場合、対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)となる。

対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)の場合、審判員は直ちに「アルト(Halte)！」を宣告する。これは「事実に関する決定」として扱われる(規則t.136.2参照のこと)。

対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)に対しては、以下の通り罰則が科せられる。(t.170参照)

1 個人戦-エリミナション・ディレクト

Pレッドカードが、両方の選手に対して同時に提示される。Pブラックカードについては、以下の「1.b)」の記述にしたがって提示される。

- a)1回目に1分間の対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)が生じた場合、審判員は両選手にPレッドカードを提示し、罰則を科す。
- b)2回目に1分間の対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)が生じた場合、以下の通りPブラックカードが提示される：
 - i)両選手のスコアが同点の場合、審判員は当該大会における初期シード順位が低い方の選手にPブラックカードを提示する。
※ 全国高等学校総合体育大会では、予選プールのシード順位を適用する。
 - ii)両選手のスコアが同点でない場合、審判員はスコアが低い方の選手にPブラックカードを提示する。スコアが高い(リードしている)方の選手が試合の勝者となる。

2 団体戦

Pレッドカードは、両方のチームに対して同時に提示される。Pブラックカードについては、以下の「2.b)」の記述に従って提示される。

- a)1回目の1分間の対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)が生じた場合、審判員は両チームにPレッドカードを提示し、罰則を科す。
- b)2回目に1分間の対戦無意欲(ノン・コンバティビティ)が生じた場合、以下の通りPブラックカードが提示される：
 - i)両チームのスコアが同点の場合、審判員は当該大会における初期シード順位が低い方のチームにPブラックカードを提示する。この場合、大会の初期ランキングが高い方のチームが、その試合の勝者となる。
※ 全国高等学校選抜大会ではメンバーリスト提出の際に若い番号(1・2・3)を引いたチームが、その試合の勝者となる。
 - ii)両チームのスコアが同点でない場合、審判員はスコアが低い方のチームにPブラックカードを提示する。スコアが高い(リードしている)方のチームが、その試合の勝者となる。

3 個人戦および団体戦共通規定

- a) 試合（団体戦の場合は全 9 試合）の中で提示された P レッドカード（ペナルティポイント）、P ブラックカード（試合の敗北）は、当該の試合においてのみ有効である。これらは次の試合（または次の対戦）へは引き継がれない。なお、個人戦の 14 対 14、または団体戦の 44 対 44 のスコア時には、いかなる P カード（レッド、ブラック）も提示することはできない。
- b) 個人戦および団体戦において、P ブラックカードの提示により試合に敗れた選手またはチームは、大会の最終結果において「試合に敗れた者もしくはチーム」として順位付けされる。
- c) 個人戦および団体戦において、P レッドカードが提示された後も、そのピリオド（または団体のリレー）は続行される。
- d) 1 分間の計測は、全てのトゥシュ（有効・無効問わず）、トゥシュの取り消し、ペナルティによる点数、および各ピリオドやリレーの開始時にリセットされ、再び計測される。
- e) 審判員は、これらの P レッド、P ブラックカードを試合記録用紙（スコアシート）の専用欄に個別に記入しなければならない。対戦無意欲（ノン・コンバティビティ）によって科された罰則は、他の違反による罰則とは累積されない。
- f) 個人戦および団体戦において、試合の規定時間が終了した時点で同点の場合、t.124 は適用されず、t.40.3 および t.41.5 が適用される。